

登録コード	SSA29609	開講年度	2026				
授業題目	特別研究（数学分野）					担当教員	和田 堅太郎
英文授業名	Special Research (Mathematics Division)					副担当	
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期		
講義室					備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】		
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学						
	【DP1】人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための学際的な幅広い見識と健全な倫理観					数学を通じて論理的な思考力を養い, 様々な場面で活かせるようになる。	
	2 4 SSカリ・理学						
	~ 24SS【DP2】環境調和社会, 知識基盤社会を支える高い知的素養					数学を通じて論理的な思考力を養い, 様々な場面で活かせるようになる。	
	~ 24SS【DP3】それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力					数学を通じて論理的な思考力を養い, 様々な場面で活かせるようになる。	
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学						
	【DP4】創造性豊かな優れた研究・開発能力					数学を通じて論理的な思考力を養い, 様々な場面で活かせるようになる。	
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち, その妥当性を理論的に説明し, 議論する能力					数学を通じて論理的な思考力を養い, 様々な場面で活かせるようになる。	
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学						
	【DP2】それぞれの研究分野における高度な専門的知識と環境調和社会, 知識基盤社会を支える高い知的素養					数学を通じて論理的な思考力を養い, 様々な場面で活かせるようになる。	
	【DP3】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					数学を通じて論理的な思考力を養い, 様々な場面で活かせるようになる。	
(2)授業の概要	セミナーを通じて, 専門知識の習得及び, 修士論文執筆のための助言, 議論を行う。						
(3)授業のキーワード	表現論						
(4)授業計画	セミナーを通じて修士論文の執筆に必要なことを確認しながら修士論文を作成する。						
(5)成績評価の方法	セミナーでの発表の状況と研究内容によって評価する。						
(6)成績評価の基準	得られた成果が特に優れていれば秀, 優れていれば優, 良好であれば良, 努力が認められる内容であれば可とする。						
(7)事前事後学習の内容	セミナーを通じて必要なことを指示する。						
(8)履修上の注意	特になし。						
(9)質問,相談への対応	随時対応する。						
【教科書】	特になし。						
【参考書】	適宜指示する。						